

明けましておめでとうございます。

操山中学・操山高校の生徒の皆さんの元気な顔を見ることができて嬉しいです。

今日から三学期がスタートします。この三学期は学習や学校行事等の締めくくりの時期であり、また入試の時期でもあります。

明日9日には岡山操山中学の入試が実施されます。3月には高校入試も実施されます。

そして、高校3年生の皆さんにとっては、来週の16日、17日のセンター試験を皮切りに、いよいよ大学受験が本格化する時期でもあります。

高校3年生の皆さんは、これまで真面目によく頑張ってくられました。私も、皆さんが職員室で熱心に先生に質問する姿、自習室で夕方遅くまで学習に打ち込む姿、そして土曜・日曜ごとに校外模試に挑む姿を見てきました。私は、このような皆さんの姿、目的を持って主体的に直向きに取り組む姿は凛々しく、美しいと感じています。

旧約聖書の詩篇に、古代イスラエルの人々が詠んだ詠んだ詩があります。

「苦しみ会ったことは私にとってしあわせでした。わたしはそれであなたの掟を学びました。」
「あなたの掟」とは「神の掟」であり、「人生の在り方」「人生の真理」と言い換えることができます。世界史を学んだ人は知っているとおりに、古代イスラエルは多くの戦争に巻き込まれ、アッシリアやバビロンに滅ぼされ、捕囚となるという尋常ではない苦しみを体験してきました。その人達の言葉です。

確かに苦しいことは嫌ですし、私もできれば苦しいことは避けたいと思います。でも、苦しい体験をとおして得ることのできる人生の真理や生き方・考え方もあります。そして、そのようにして得た真理や生き方が、その人を支えることができるのでは、と思います。

私にとっても受験は楽ではありませんでした。多くの大切な事も学びました。

まず、人生の目的を自覚することの大切さを知りました。ニーチェの「なぜ生きるかを知る人は、ほとんどすべての、いかに生きるか、に答えることができる」という言葉の意味を知ったのもこの頃です。

また、目の前の困難に圧倒されたり自分の弱さを嘆いたりするだけではなく、問題の本質や自分の強み・弱みを客観的に捉え、解決を考えることができ始めたのも高校時代でした。

さらに、高校で一生懸命学んだ学習内容は、大学受験だけではなく、その後の人生の様々な場面で活かすことができました。高校時代に学んだ多くの事は、深く広い教養の基礎になり得るのです。

近い将来、皆さんがそれぞれの受験の時期を振り返り、「あの時はいろいろと苦しかったけれど、大切なこともたくさん学んだ。」と言うことのできる日が来ると信じています。

3年生の皆さんには、これまでの努力に自信をもち、各々の人生の目標を再確認しながら、その実力を十分に発揮されることを願っています。3年生の皆さんの健闘を祈ります。

操山中学の生徒の皆さんや操山高校1、2年の皆さんにとっても、三学期は様々な活動の仕上げの時期です。学習に、部活動に、生徒会活動に、あるいは「未来航路」のまとめに、頑張ってください。